

令和 7 年 7 月 25 日
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

辻本 勝 研究監・流体設計系長が内閣総理大臣賞を受賞 —実海域実船性能評価の「ものさし」の開発による海運からの GHG 排出削減に貢献—

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所（所長 平田 宏一）の
辻本 勝^{つじもと まさる} 研究監・流体設計系長が、「海洋に関する顕著な功績」分野の被表彰者として、「第
18 回海洋立国推進功労者表彰」（内閣総理大臣賞）を受賞し、その表彰式が 7 月 21 日に秋篠
宮皇嗣同妃両殿下ご臨席のもと東京国際クルーズターミナルにて執り行われました。なお、
辻本 研究監・流体設計系長は、平成 28 年に「「海の日」海事関係功労者大臣表彰」（国土交
通大臣表彰）を受賞しています。

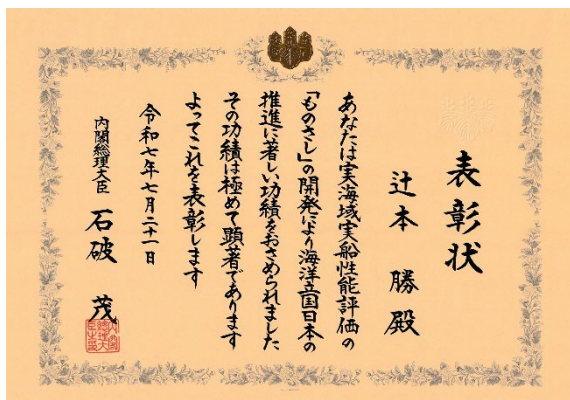
辻本 研究監・流体設計系長は、これまでに実海域実船性能評価法（船舶が波や風のある海
域を航行する際の推進性能・燃費性能の評価方法）の研究開発を進め、日本海事クラスター
（船社、造船所、船用メーカー等のべ 27 機関が参加）によるオープンイノベーション型プロ
ジェクト「実海域実船性能評価プロジェクト（OCTARVIA Project）」を主導しました。この成
果として、船舶の設計段階、運航段階で利用される透明かつ公平な実海域実船性能評価の「も
のさし」の開発を行いました。

今般の表彰は、OCTARVIA プロジェクトにより日本海事クラスターの実海域性能評価レベ
ルを世界最高水準に引き上げるとともに、開発した「ものさし」が海運からの温室効果ガス
（GHG）排出削減に貢献し、開発技術が産業界で利用開始されていることが高く評価された
ものです。

なお、当所職員の本表彰受賞は「第 10 回海洋立国推進功労者表彰」（平成 29 年：太田 進
海上技術安全研究所特別研究主幹・国際連携センター長（受賞時））に続くものです。



表彰式の様子（前列中央右：坂井学海洋政策担当大臣、前列中央左：中野洋昌国土交通大臣、後列右端：辻本研究監）



表彰状



海洋立国推進功労者賞メダル

＜お問い合わせ先＞
 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
 海上技術安全研究所 企画部広報係
 Tel : 0422-41-3005 Fax : 0422-41-3258
 E-Mail : info2@m.mpat.go.jp
 URL : <https://www.nmri.go.jp>